



NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL http://www.shibuya-p.com



エコ事業所認定証

認定番号 00568

事業所の名称
シブヤパイピング工業株式会社

事業所の所在地
名古屋市中区大須一丁目22番51号

認定期間 平成30年 2月 22日から
平成33年 2月 28日まで

貴事業所は事業活動において環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施している事業所であると認めエコ事業所として認定したことを証します

平成18年 2月20日(認定日)

平成30年 2月22日(改定日)

名古屋市長 河村 たかし

エコマークを付した商品を使用しています。

名古屋市に更新申請していた「エコ事業所認定証」が届きました。平成18年2月20日の初回認定から3回の更新を経て、12年が経過しました。「紙、水、電気、ガソリン」の削減から始まったエコ活動も13年目に入ります。ISO14001を取得し、忘れがちになっているの基本的「紙、水、電気、ガソリン」使用状況について原点に立ちけり見直していきましょう。

例年にない寒さで毎日のように氷、霜柱が観られた1、2月のシブヤの庭も3月となり、草木の芽吹きに春の訪れを感じることができる季節となりました。

寒かった冬と暖かな3月の陽気で桜の開花予想は、例年より早く3月24日頃とのこと。今年の入園、入学式は満開の桜の下、あるいは桜舞い散る春の陽光の中ということになりそうです。

一方ではこの春の暖かさとともにピークがやってくる「花粉症」に悩まされている方も多いいと思います。花粉症の処方薬の服用が眠気を誘い注意力散漫を招くこともあるようです。現場管理、車の運転には十分に気をつけ、忙しい年度末を無事故で乗り切りましょう。



昨年5月に生まれた「シブヤの庭」の「金魚」。15匹が元気に冬を越し、春の日差しを受けて元気に動き出しました。大きさ、色、模様とも同じ親から生まれたとは信じられない多様な姿に遺伝子の不思議を感じます。何匹の稚魚が生まれたのか定かではありませんが歩留まりは1割に満たないようです。

親の金魚も元気ですので今年もうまく行けば4月中旬には産卵が見られるかもしれません。

「食品ロス」を減らそう

【ISO14001 掲示板】

普段私たちが食事をするまでの食物生産過程を思い浮かべてみてください。肥料、飼料、生産機械・設備、輸送、保存、販売、調理等あらゆる場面でエネルギーは不可欠です。食品ロス=エネルギーロス=環境破壊

まだ食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる「食品ロス」が日本では年間約632万トンにも上ります。これを日本人1人当たり換算すると、毎日お茶碗約1杯分(約136g)のご飯を捨てていることとなります。私たちは多くの食べ物を輸入し、大量に捨てているのです。大切な食べ物を無駄なく消費し、食品ロスを減らして環境や家計にとってもプラスになるような、工夫を順次ご紹介します。

(政府広報オンラインより)

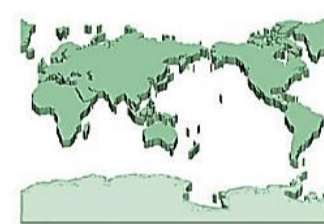
★第1回「食品ロス」年間約632万トン、1人1日お茶碗約1杯分(約136g)の食べ物が捨てられている日本

日本国内における年間の食品廃棄量は、食料消費全体の3割にあたる約2,800万トン。このうち、売れ残りや期限を超えた食品、食べ残しなど、本来食べられたはずの、いわゆる「食品ロス」は約632万トンとされています。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量(平成26年で年間約320万トン)を大きく上回る量です。また、日本人1人当たり換算すると、「お茶碗約1杯分(約136g)の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。

日本の食料自給率は現在39%(平成27年度)で、大半を輸入に頼っていますが、その一方で、食べられる食料を大量に捨てているという現実があるのです。もったいないと思いませんか。

食品ロスを減らすために、食べ物をもっと無駄なく、大切に消費していくことが必要です。

世界の食料援助量



2014年 約320万トン

日本の食品ロス



年間 約632万トン

【内部監査日程】

【内部監査日程】 3月22日 ~ 4月6日



被監査部門	予定日	監査リーダー	監査員
管理責任者	3月28日	高橋 智一	三宅 勇介
総務・財務・管理	4月 4日	竹内 寿	北川 美由紀
技術部	3月28日	玉田 康弘	高田 友紀子
営業企画部	3月30日	渡邊 敦洋	久米 隼人
静岡支店	3月27日	脇田 恵	早野 将成
浜松支店	3月23日	李 永平	安藤 知英
岐阜支店	3月27日	木村 恒嘉	中村 美暢
三河営業所	4月 4日	甲 和之	今井 智恵子
小牧事業所	3月30日	杉山 貴英	渡邊 健太

※詳細日程・時間は監査リーダーと被監査部門で打合せください。

73期・後期の内部監査を3月22日から4月6日の予定で実施します。監査員、被監査部門の方々には年度末、年度初めの忙しい中ですがご協力をお願いします。

監査はこれまでの内部監査、外部審査での結果を参考に、改善すべき事項が全社に水平展開され各部門でプロセスが有効に機能しているかの審査となります。

<監査目的>

- ・今期の部門目標の達成状況と結果を踏まえて改善点を見出し、より良いプロセスを確立するための監査です。
- ・ISO14001・9001の理解・浸透度を確認するため、統一確認項目を設けて監査を実施します。
- ・これまでの内部監査、外部審査での指摘事項に対する改善状況を確認します。

<内部監査以降の日程>

◎監査後チームリーダー会議
日時 2018年4月13日
13時00分 ~
場所 本社会議室

◎マネジメントレビューレビュー
日時 2018年4月18日
15時00分 ~
場所 本社会議室